指定管理者からの令和5年度事業報告概要

施設名	岡山県津山陸上競技場
施設所在地	岡山県津山市志戸部245

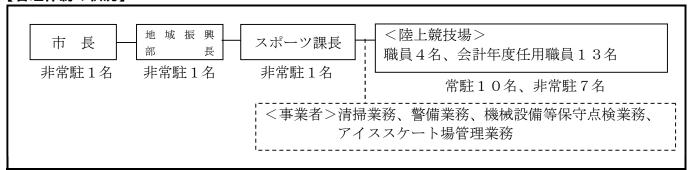
【指定管理者の概要】

名 称	津山市	代表者	津山市長 谷口 圭三
所在地	岡山県津山市山北520		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日~令和9年3月31日	報告期間	令和5年4月1日~令和6年3月31日
管理業務 の内容	・岡山県津山陸上競技場の施設及び設備・岡山県津山陸上競技場の施設及び設備・岡山県津山陸上競技場条例第2条に規振興等)の実施に関すること。	の維持管理	に関すること。

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位:件)

		主競技場	アイススケート場	多目的広場	合 計
許	5年度	10, 398	11, 907	49	22, 354
可 件	4年度	13, 194	9, 394	94	22, 682
数	増減	△2, 796	2, 513	$\triangle 45$	△328

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設利用等の許可	・主競技場:10,398件(23,724人) ・アイススケート場:11,907件(12,438人)
業務	・多目的広場:49件(4,945人) 合計:22,354件(41,107人)
施設等の維持管理	・施設等維持修繕 ・施設等保守点検 ・芝生管理 ・樹木管理 ・清掃
業務	・一般廃棄物処理 ・警備 ・駐車場管理
自主企画事業	・津山スポーツフェスティバル(約4,000人)

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位:円、件)

	主競技場	アイススケート場・広場	附属設備等使用料	合 計
収入額	1, 310, 380	3, 111, 790	6, 102, 702	10, 524, 872
利用件数	10, 398	11, 956		22, 354
減 免 額	583, 580	30, 225	0	613, 805
減免理由	免理由			

指定管理者からの令和5年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位:円)

					(十二:11)
		5 年度	対前年度増減額	4年度	備考
収	ス A 額 A	79, 023, 324	△17, 010, 202	96, 033, 526	5年度収入額 その他の主なもの
	指定管理料	5, 000, 000	0	5, 000, 000	・自動販売機設置 収入
内	利用料金収入	10, 523, 671	1, 572, 715	8, 950, 956	1,849,960円
訳	市町村負担金	61, 496, 482	\triangle 19, 137, 597	80, 634, 079	
	その他	2, 003, 171	554, 680	1, 448, 491	
支出額B		79, 023, 324	△17, 010, 202	96, 033, 526	
	人件費	24, 419, 672	2, 344, 979	22, 074, 693	
内	管理運営費	54, 603, 652	\triangle 19, 355, 181	73, 958, 833	
訳	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		0	0	0	
県への納入金		0	0	0	
実質的な県負担額		5, 001, 201	1, 201	5, 000, 000	

【特記事項(管理運営業務の実施状況の点検結果)】

点検項目		区分	特記事項(評価すべき点・改善すべき点)
管理運	①適切な施設 管理の履行	В	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	В	関係法令に基づく義務は履行されていた。
営状	③安全性の確保	В	点検等を適切に実施し、不具合箇所は適切に修繕するなど、安全性を 確保した管理が履行されていた。
況	④財産の適切な 管理	В	施設・設備・器具の点検修理や維持修繕は概ね適切に実施され、適切な管理が履行されていた。
導入効果	①利用状況	В	第2種公認検定工事に伴う利用停止期間がありつつも、各種大会等の誘致や利用促進に努めた。利用人数は昨年度を上回らなかったものの、一昨年度よりは多く、高水準を維持している。 (許可件数) R 5:22,354件←R4:22,682件 (利用者数) R 5:41,107人←R4:52,360人
	②収支状況	В	アイススケート場の利用料金収入が増加した。また、一部管理委託を中止し直営に変更する等の工夫をしつつ、概ね事業計画どおりの管理運営がなされた。
	③サービス向上	A	期間営業のスケート場は、市広報誌・SNS・雑誌等での情報発信やPRに力を入れた。各大会の主催者と事前の打ち合わせを密に行い、スムーズに運営できるよう取り組んだほか、キャッシュレス決済を導入するなど、利用者の利便性向上が図られた。
管理運営業務全般		В	キャッシュレス決済の導入等、サービスの向上が図られ、協定書、事 業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施された。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A: 予定していた業務水準を上回った。 B: 予定していた業務水準を概ね実施した。 C: 予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D: 予定していた業務水準を下回った。